

リサーチグループ登録届出書

平成 25 年 1 月 31 日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称 新しいラーニングコモンズの構築
リサーチグループの名称(英語) Foundation for Integrated Learning Commons

分野 (1.人文系、2.理工系、3.生物系、④複合系) 4

設置開始時期 2012 年 7 月

設置終了時期 2013 年 12 月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名 図書館情報メディア系・教授
氏 名 逸村 裕
氏名(英語) ITSUMURA. Hiroshi

3. 連絡先

所属・職名 図書館情報メディア系・教授
氏 名 逸村 裕
電 話 029-859-1374
F A X 029-859-1093
E - m a i l hits@slis.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局 (当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

図書館情報メディア系

共通様式②

5. 構成員一覧について

| 氏名 | 所属部局 | 職名 | 専門 | 学位 | 役割分担 |
|-------|------------|-----|--------|-------------|-------------------|
| 逸村裕 | 図書館情報メディア系 | 教授 | 図書館情報学 | 文学修士 | 代表者 |
| 溝上智恵子 | 図書館情報メディア系 | 教授 | 高等教育論 | 博士(政治学) | ラーニングコモンズ調査 |
| 長谷川秀彦 | 図書館情報メディア系 | 教授 | 情報工学 | 博士(工学) | e-Learning システム構築 |
| 池内淳 | 図書館情報メディア系 | 准教授 | 図書館情報学 | 修士(図書館・情報学) | 統計処理 |
| 呑海沙織 | 図書館情報メディア系 | 准教授 | 図書館情報学 | 博士(創造都市) | ラーニングコモンズ調査 |
| 辻慶太 | 図書館情報メディア系 | 准教授 | 図書館情報学 | 博士(教育学) | e-Learning システム構築 |
| 三波千穂美 | 図書館情報メディア系 | 講師 | 図書館情報学 | 文学修士 | ラーニングコモンズ調査 |

共通様式③

| | | | | | |
|---|------------------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------------|--|
| 6. 科研費細目番号 | 主なものから順番に3つまで記載してください。 | | 1303 | | |
| 7. キーワード (5つまで) | ラーニング commons | 図書館情報 システム | 第三段階教 育 | 高等教育 | |
| 8. キーワード (英語) | Learning Commons | Library and Information System | Tertiary education | Higher education | |
| 9. 研究グループ HP | URL を記載 してください。 | 構築中 | | | |
| 10.研究グループ概要 (1000字程度) | | | | | |
| <p>本研究は、現実世界の LC (ラーニングcommons)を発展させ、仮想世界 (電子空間) の e-Learning システムを相互に乗り入れ、相乗効果で機能拡大を図ろうという試みである。これにより情報とネットワーク社会の情報を結びつけ、質的な改善を図ることに独創性がある。</p> | | | | | |
| 11. 研究グループ概要(英語) | | | | | |
| This research aims to develop the integrated learning commons and virtual education system. | | | | | |
| 12. 設置の目的及び必要性 | | | | | |
| <p>この数年、大学図書館にラーニングcommonsを設置することは急速に広まっているが、いわゆる箱モノであったり、図書館単体での設置にとどまっている。高等教育改善が喫緊の課題である今日、ラーニングcommonsを発展させ、例えば教育プログラムと連動した e-Learning システムと携帯機器を活用したヴァーチャルcommonsを開発し、情報とネットワーク社会の情報を結びつけることは高等教育にとって重要な役割を果たすことになる。</p> | | | | | |
| 13.研究計画 | | | | | |
| <p>2012 年度 ラーニングcommonsに関する文献及び実態調査 実験的なシステム構築準備</p> <p>2013 年度 春日ラーニングcommonsを場としての実験・検証</p> | | | | | |
| 14. 研究・教育に期待される効果 (箇条書き) | | | | | |
| <p>高等教育、特に初年次及び学類教育の改善 情報システムとラーニングcommonsの高度化</p> | | | | | |